

立憲民主党 さっぽろNEWS

発行：立憲民主党札幌支部 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目8番地 TEL:011-241-7117

2025 5/16

No.028

勝部議員と野田代表が街頭演説

現場の声で政治は変わる

立憲民主党の勝部けんじ参院議員は5月11日、札幌入りした野田佳彦代表とともに、大通公園で街頭演説を行った。再選を目指して全道を回っている勝部議員は「今年の総選挙の結果、国会の状況が一変した。高額療養費制度の見直しについても、いったん凍結することができた。これは当事者の声を国政に届けることができた結果だ」と強調した。

勝部議員はまた、道内179市町村を訪問する中で、「農業や漁業関係者、中小企業の皆さんから経営が立ちゆかないという切実な声を聞いている。高額療養費制度と同様、現場の声に耳を傾け、それを反映させていくことで政治は変えられる」とし、特に医療や1次産業の持続性、中小企業の賃上げに向けた対策に全力を注ぎたいと訴えた。

さらに「自民党に北海道の2議席を与えてはならない。地域の現実と向き合い、暮らしと経済を守る政策を実行するため、皆さんと力を合わせていく」とし、支援を呼びかけた。

野田代表「北海道からうねり作り出す」

野田代表は、参院選の公約に「食料品の消費税率0%」を掲げることについて、「物価高に加え、トランプ大統領の関税政策の影響が世界経済に大きな影響を



「北海道から政治を変えていくうねりを作り出す」と訴える野田代表



暮らしと経済を守る政策を実行すると述べる勝部議員

及ぼし、民のかまどから煙が消えてしまう可能性もあり得る」と指摘した。

また、「食料品の消費税率0%」や「ガソリンの暫定税率廃止」の政策に関し、それぞれ財源を明示しながら実現を目指すとして表明。「(ガソリンの)暫定税率が50年続き、消費税率を下げたら戻すことができないというのは俗説に過ぎない。雨が降ったら傘をさす、雨がやんだら傘をたたむ。そういう現実即した税制の運営ができるような国に変えていきたい」と話した。

さらに、「母の日」にちなんで、「お母さんの笑顔が広がる国」を目指したいと強調。「子育てや教育、家計の不安を取り除くことこそがお母さんたちの笑顔につながる」とし、教育の無償化や家計負担の軽減を推進する考えを示した。

続けて、今年の衆院選で北海道における党の躍進が全国の流れを変えてきたとして、「参議院でも北海道から日本の政治を変えていくうねりを作り出していきたい」と力を込めた。

街頭演説には、北海道連代表の逢坂誠二衆院議員(北海道8区)と道下大樹衆院議員(北海道1区)も参加した。

演説会終了後には、「勝部けんじ合同選対」の発足総会が開かれ、本部長に逢坂代表が就任した。また同日に事務所開きも行われ、約100人の支持者を前に、勝部議員は「道民の声を受け止め、思いを形にする決意と覚悟で選挙戦を勝ち抜きたい」と意気込みを語った。

賃上げがあたりまえの社会を

連合北海道（須間等会長）は5月1日、大通公園で第96回全道メーデー大会を開いた。約150団体から3千人が結集し、賃上げや労働環境の改善を訴えるとともに、目前に迫る第27回参院選の勝利に向けた特別決議案を採択した。



約3千人が結集した全道メーデー大会

須間会長は「賃金が引き上がっても、物価の上昇には全く追いついていない。大企業から中小・小規模企業まで全ての働く仲間が賃上げの効果を実感することが重要」と強調。「2025春闘のスローガンは『みんなでつくろう！ 賃上げがあたりまえの社会』。私たちの力で社会を変えていこう」とあいさつした。

また、「参院選でも与党の過半数割れをなし遂げ、自公政権による政治をリセットする」として、北海道選挙区で連合北海道が推薦する候補予定者の当選と、比例区の各産別が擁立・推薦する候補予定者全員の勝利に向け、皆さんと取り組んでいくと表明。最後に、「働く仲間の処遇改善と格差是正を目指し、団結と連帯の絆を強め、力強く行動しよう」と呼びかけた。

大会には、立憲民主党に所属する道内選出の国会・地方議員や秋元克広市長らが出席した。勝部けんじ参院議員は「昨年の衆院選を経て政治が大きく変わり始めている」と指摘。「夏の参院選は正念場の戦い。人口減少・少子高齢化、地域経済、医療・介護、教育、日々の暮らしなど、全てが厳しい状況であり、これらの課題に仲間の皆さんと力を合わせて取り組んでいきたい」と訴えた。



全道メーデー大会であいさつする勝部議員

春闘と参院選勝利へ団結

参院選勝利に向けた特別決議では「次期参院選を健全な議会制民主主義を取り戻す極めて重要な取り組みと位置付け、政権交代可能な二大政党的政治体制の一翼を担う勢力構築の足がかりにすべく、全ての組織を挙げて戦いを展開する」と宣言した。

このほか、「一人ひとりが尊重され、多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない社会をともに築いていこう」とするメーデー宣言案と、「戦後・被爆80年 次代につなぐ平和の特別決議案」を採択。2025春闘と参院選の勝利に向け、「ガンバロー三唱」で団結を誓った後、大会のメインスローガン「次代につなぐ 平和の願い！ みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来（あした）を！」と書かれた横断幕を掲げ、市内中心部を行進した。

食料品の消費税率「0%」に

第96回全道メーデー大会に合わせ、立憲民主党北海道連は1日、大通西3丁目で街頭演説会を開催した。

「消費税の負担軽減策」に関し、「食料品の消費税0%」を時限的に行い、その後、「給付付き税額控除」に移行することを党として打ち出したと報告。また、働き方改革や地方都市の人口減少、物価高を上回る収入増実現に向けた取り組みなどを訴えた。

街頭演説会には、道下大樹（北海道1区）、松木けんこう（北海道2区）、荒井ゆたか（北海道3区）、おおつき紅葉（北海道4区）、池田まき（北海道5区）、西川まさひと（北海道6区）、神谷ひろし（北海道10区）各衆院議員と、徳永エリ（北海道選挙区）、勝部けんじ（北海道選挙区）、岸まきこ（比例代表）各参院議員が参加した。